

気軽にできるアクティビティを見つけよう

岡山県マニュアル研究会

もっと自由にアクティビティをアレンジすることができないだろうか。もっと日常の中でアクティビティをひとりでもすることができないだろうかと考え、皆さんにお聞きします。現実不可能なものから、誰かがしているだろうなというものまで何でも結構です。お寄せください。内容の良し悪しも気になるんですが、目標は量を集めることです。ご協力をお願いします。

自然案内人から

- 音いくつ
 - ・ 朝、布団の中で目が覚めたら感覚を序々にとぎすます。いろいろな音が耳に入ってくる。
- わたしの木
 - ・ 子どもを幼稚園に送る途中にある“わたしの木”にさわってあいさつをする。
- 森の色あわせ
 - ・ 色を一色に決めて、その色のみを探す。今日は「赤」街路樹の実、花壇の花、紅葉の葉っぱ。
- サウンドマップ
 - ・ 紙とペンはないけれど目を閉じて頭の中にサウンドマップを描いてみよう。この公園がぐっと近くなった気がする。
- 木のキャッチフレーズ
 - ・ 通りかかった道で見かけた街路樹がユニークな顔で私にメッセージを送っていた。遊び心でこの木に「あくびの木」と名前をつけた。
- サンセットウォッチ
 - ・ ここは大自然ではないけれど、夕暮れを眺めていると“地球を感じる”……。大自然もこの街も同じように日が暮れていくんだな。
- ノーズ
 - ・ おなじみのネイチャーゲームをクイズ感覚で楽しむ。今日、職場の近くの公園で見たカマキリを題材に妻に出題。
- ネイチャーメディテーション
 - ・ 寝る前に本を読む。偉人の言葉を深く感じながら時間を過ごす。
- めざせ名探偵
 - ・ 葉っぱや木の実を見つけたら、それがどの木のものをかを推理して探す。
- カモフラージュ
 - ・ ロープを張って、そこにカモフラージュしているゴミを見つける。
 - ・ カモフラージュしている蛾や虫などの本物を探す。
 - ・ 丸い石を探す。
 - ・ 虫食いで顔に見えるものを探す。
 - ・ 木の実が何種類あるか歩きながら探す。
 - ・ 虫が何種類あるか探す。
 - ・ 1回マニュアルどおりに行ったあと、いくつか葉っぱや虫の折り方を書いた紙を用意しておき、自分が虫

になったつもりで色紙を選び折り紙を折ったあと、「ごちそうはどこだ」の要領で、チーム分かれて、それぞれのエリアに自分たちの折った折り紙を置いて見つけあう。(時間がゆったりと取れるときにやってみたい)すでに折ってあるものを使って実施したことがあります。リーダーが使った人工物を隠してもらったことがあります、本当に分からなくなり、困ってしまった経験から、色紙を使うようにしました。

- きこりの親方 (二人で)
 - ・ 弟子は何度も往復。その後親方と弟子が交代。(笑)

- 暗闇を照らせ
 - ・ 薄暗い中で歩きながら、丸いものを探し、見つけたら懐中電灯で照らす。
 - ・ 鳴いている虫にそっと近づき、一気に照らす。
 - ・ ほたるにそっと近づき、一気に照らす。
 - ・ 昼間にもものを隠しておきそれを夜になってから探しに行く。(どんぐり)

- セリフをつけて
 - ・ 「木のセリフ」のように「鳥のセリフ」「虫のセリフ」「花のセリフ」など写真を使って自然のセリフを書き込んでいます。

- 森の美術館
 - ・ 自然の中で、思いがけない模様や質感のあるもの、色の組み合わせを発見することがあります。そこで、さまざまな生き物の形を切り取ったフレームを用意します。自然の中でこれは!と思った模様や色などの上にフレームをおいて自分のオリジナルの色、模様の生き物を作って、紹介しあいます。たとえばコケの上、コブシの落ち葉(ヒョウ柄のよう)オオイヌノフグリの沢山咲いている場所、スズカケの樹皮の上などです。まとめ方によってはカモフラージュにつなげて話ができそう、と思っています。

- 森の色あわせ
 - その日自分が着ているもの、持っているものの中にある色を見つけながら歩いています。

- 動物ヒントリレー
 - 「生き物絵あわせ」をやるか?とっていたところスタッフが自分ひとり、参加人数がつかみにくいなど、カードの数合わせをするのが難しかったので、ヒントカードの代わりに「動物カード」をA3版に拡大し、7つのパーツにカットしてやってみました。ヒントの代わりに動物の体の一部分がヒントになっていくというわけです。カットの仕方に少し工夫が必要ですが、参加者にも楽しかった、幼稚園などで親子でやってみたいと言っていました。

- 自然の紋
 - 絵を描くことに消極的な人も多いので自然の中に落ちているものを紙に書いた大きな円の中に思い思いにレイアウトして自然の紋を作るといのはどうでしょうか?(落ちているものに限られてしまうので、生き物はむりですね)

- ミステリーアニマル
 - ストーリーをかたり、生き物の体の特徴などを説明して頭の中で観察をし、絵を書いてもらう活動ですが、小さい子もいて、何もかけなくなってしまう子もいるのではないかと一通り書いてもらった後に、オリジナルでつくったその生き物の「絵描き唄」でかけなかった子も絵が苦手な子もみんなが描けるように工夫しました。じっくり方のクマの段階のアクティビティですが、「絵描き唄」をしてしまうとそれまでの雰囲気からガラッと変わってしまうので、賛否両論あると思います。

7月の課題ですが、7月に限らず今年度の課題として、継続的に情報提供・収集をしていってはどうでしょうか?

FS に、提案できると思いますが、新潟県のFSは9月ですので。
アレンジについても、日々の生活にネイチャーゲーム的視点で、自然体験、身近な自然の変化に気づくといった
ライフスタイルへの導入へ、さまざまな意見が集められそうですから。
よろしく申し上げます。